

本年度の看護学部国試対策委員会の取り組みについて

国家試験対策委員会は、保健師、助産師、看護師の国家試験受験者をサポートする活動を行っています。

例年、委員会では対策講座、模擬試験、勉強会を実施していますが、本学では委員会委員だけでなくすべての教員が、学生の皆さんとともに国家試験合格を目指して学習状況に一喜一憂しながら、応援をしています。

そしてこれまで、学生一人ひとりの皆さんの目標に向かう取り組みによって、本学看護学部の看護師・保健師・助産師の合格率はきわめて高い水準にあります（看護学部ホームページ>教育内容>看護師・保健師・助産師国家試験の欄参照）。

しかし、本年度は全国的なコロナウイルス感染拡大のため、4月、5月は大学への立ち入りが禁止という状況となり、予定していた模擬試験や対策講座は、開講できませんでした。

来学ができない環境下での国家試験対策を進めるべく、皆さんへの情報の発信のシステムを整え、ユニバーサルパスポートでの通信は勿論ですが、オンライン授業で導入しているMoodleに、国家試験対策委員会の専用のバナーを作成しています。皆さんに知っておいていただきたい情報を提示していきますので、活用してください。

5月13日には、webEXを使い、国家試験対策オリエンテーションを行いました。本学の取りくみや近年の国家試験の傾向など情報提供を行いました。98.8%の学生が出席していたことから、みなさんが国家試験に高い関心を寄せていることを感じています。

次に模擬試験ですが、現在は集団での試験実施は困難であると判断し、5月6月実施予定の模擬試験は自宅受験としています。今後の試験については、感染拡大状況等をふまえ、今後皆さんが安心して大学で受験ができるよう検討を重ねています。

開講できなかった対策講座については、正規の授業や実習の受講、また国試対策のスケジュールに無理が出ない範囲で、不足分を補うべく業者と交渉しています。

さて、6月に入り、対面授業が始まりました。国家試験については皆さんもさぞ、心配になっていることかと思えます。学習を進める上で困ったことがあれば、国試対策委員会の委員やチューターの先生にぜひご相談ください。私たちはいつでも皆さんを応援しています。みんなで力を合わせ、国家資格をゲットしましょう！

大阪医科大学看護学部国家試験対策委員会委員一同